

# アレルギー疾患において原因となっていることが多い アレルゲンをバランスよく搭載

Viewアレルギー39は、アレルギー疾患において原因となっていることが多いアレルゲンへの感作を一度に調べることができます。

吸入系・その他				食物系			
室内塵	ヤケヒョウヒダニ ハウスダスト1		イネ科植物 カモガヤ オオアワガエリ	卵 卵白 オボムコイド		豆類 大豆 ピーナッツ	
動物	ネコ皮膚 イヌ皮膚		雑草 ブタクサ ヨモギ	牛乳 ミルク		肉類 鶏肉 牛肉 豚肉	
昆虫	ガ ゴキブリ		真菌 アルテルナリア(ススカビ) アスペルギルス(コウジカビ) カンジダ、マラセチア(属)	穀類 小麦 ソバ 米		魚類 マグロ サケ サバ	
樹木	スギ、ヒノキ ハンノキ(属) シラカンバ(属)		職業性 ラテックス	甲殻類 エビ カニ		果物 キウイ リンゴ バナナ	
				その他		ゴマ	

## 吸入系・その他アレルゲン

疫学調査において高い陽性率を示すアレルゲンや、疾患や病態に関する重要なアレルゲンを搭載しています。

注意すべき時期		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
室内塵	ヤケヒョウヒダニ、ハウスダスト1	陽性率が高く、代表的な室内アレルゲン											
動物	ネコ皮膚、イヌ皮膚	陽性率が比較的高く、認知度が高まりつつあるアレルゲン											
昆虫	ガ ゴキブリ	陽性率が比較的高く、認知度が高まりつつあるアレルゲン											
樹木	スギ ヒノキ ハンノキ(属) シラカンバ(属)	春に飛散する代表的な花粉											
イネ科植物	カモガヤ、オオアワガエリ	初夏から秋に飛散する代表的な花粉											
雑草	ブタクサ、ヨモギ	晩夏から秋にかけて飛散する代表的な花粉											
真菌	アルテルナリア、アスペルギルス カンジダ、マラセチア(属)	気管支喘息やアトピー性皮膚炎に関与するアレルゲン											
職業性	ラテックス	まれにアナフィラキシーショックを引き起こし、LFS*の原因アレルゲンとなる											

\*PFAS：花粉-食物アレルギー症候群、LFS：ラテックス-フルーツ症候群

## 食物系アレルゲン

食品衛生法に基づき表示が義務づけられている特定原材料7品目すべてと特定原材料に準ずるものに含まれる10品目を含むアレルゲンを搭載しています。

特定原材料	特定原材料に準ずるもの	その他
卵 (卵白、オボムコイド)	鶏肉 牛肉 豚肉 サケ サバ	米
乳	大豆 キウイ リンゴ バナナ ゴマ	マグロ
小麦 ソバ		
エビ カニ 落花生 (ピーナッツ)		

# Viewアレルギー39の高い性能

## 高い再現性

他法に比べて再現性が高く、精度に優れています。  
(3重測定を3回実施)

アレルゲン	変動係数CV%			
	Viewアレルギー		他法	
	低濃度	高濃度	低濃度	高濃度
コナノヤケヒョウヒダニ	5.93	8.07	15.0	13.8
ネコ皮膚	4.68	7.43	21.7	23.0
イヌ皮膚	9.40	9.03	29.1	19.1
カンジダ	11.0	11.8	14.6	23.7
スギ	7.47	7.84	21.3	19.2
卵白	10.9	6.58	16.8	12.5
ミルク	8.63	5.75	16.7	**
小麦	8.04	9.50	22.7	24.7

※変動係数CV%：値が低いほどバラツキが少なく精度が高いことを示す 医学検査Vol.65, No.5, 557-564, 2016  
\*\* 測定上限以上となり演算除外

## 高い相関性

Viewアレルギー39(VA)はイムノキャップ(IC)との一致度が高く、イムノキャップによる定量的評価を行う前のスクリーニングに適しています。

アレルゲン	VA - 他法			VA - IC			他法 - IC		
	n	κ	一致度	n	κ	一致度	n	κ	一致度
d1/d2 ヤケヒョウヒダニ d1 (IC,VA) コナヒョウヒダニ d2 (他法)	84	0.758 ※	** ※	83	0.945	***	84	0.753 ※	** ※
h1 ハウスダスト1	84	0.611	**	23	0.903	***	23	0.687	**
e1 ネコ皮膚	84	0.557	*	66	0.832	***	67	0.611	**
e5 イヌ皮膚	84	0.323		73	0.772	**	74	0.426	*
t17 スギ	83	0.699	**	73	0.916	***	77	0.724	**
t2 ハンノキ	84	0.590	*	55	0.909	***	55	0.485	*
t24 ヒノキ	83	0.875	***	71	0.848	***	75	0.783	**
t3 シラカンバ	84	0.815	***	20	0.789	**	23	0.649	**
g3 カモガヤ	84	0.753	**	48	0.888	***	49	0.698	**
g6 オオアワガエリ	84	0.745	**	14	0.870	***	14	0.627	**
w1 ブタクサ	83	0.280		57	0.751	**	59	0.235	
w6 ヨモギ	83	0.702	**	32	0.916	***	33	0.696	**
m3 アスペルギルス	84	0.180		36	0.879	***	36	0.037	
m5 カンジダ	84	0.596	*	25	0.747	**	25	0.432	*
m6 アルテルナリア	84	0.576	*	29	0.792	**	30	0.479	*
k82 ラテックス	84	0.510	*	14	0.784	**	14	-0.010	
f1 卵白	84	0.593	*	68	0.787	**	72	0.552	*
f233 オボムコイド	84	0.596	*	65	0.851	***	69	0.578	*
f2 ミルク	84	0.606	**	53	0.793	**	55	0.753	**
f4 小麦	84	0.674	**	35	0.898	***	38	0.700	**
f9 米	84	0.699	**	21	0.657	**	21	0.587	*
f10 ゴマ	84	0.723	**	34	0.842	***	37	0.683	**
f11 ソバ	84	0.384		42	0.829	***	45	0.358	
f13 ピーナッツ	84	0.564	*	41	0.775	**	44	0.530	*
f14 大豆	84	0.606	**	38	0.793	**	40	0.753	**
f23 カニ	84	0.698	**	11	0.794	**	12	0.634	**
f24 エビ	84	0.638	**	16	0.879	***	17	0.895	***
f26 豚肉	84	0.613	**	12	0.806	***	12	0.364	
f27 牛肉	84	0.534	*	16	0.661	**	16	0.409	*
f83 鶏肉	84	0.591	*	13	0.871	***	13	0.364	
f50 サバ				6	0.893	***			
f40 マグロ	84	0.669	**	16	0.747	**	18	0.522	*
f41 サケ	84	0.531	*	15	0.571	*	16	0.409	*
f49 リンゴ				42	0.810	***			
f95 モモ							53	0.314	
f25 トマト							17	0.437	*
f84 キウイ	84	0.350		32	0.698	**	37	0.239	
f92 バナナ	84	0.261		32	0.611	**	36	0.182	

n：検体数、κ：重み付けκ統計量、他法：CLEIA法

重み付けκ統計量：同一対象に対する2つの測定法の結果の一致度  
一致度：\*\*\* excellent(κ ≥ 0.8), \*\* good(0.8 > κ ≥ 0.6), \* moderate(0.6 > κ ≥ 0.4), 空欄 poor(κ < 0.4)  
※ヤケヒョウヒダニ d1 (IC,VA)、コナヒョウヒダニ d2 (他法)での比較

アレルギー・免疫 Vol.24, No.6, 796-801, 2017